



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-4391-0330

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,651	△13.9	969	△32.7	1,080	△25.5	702	△37.1
26年3月期第2四半期	4,243	28.5	1,439	162.3	1,449	164.8	1,116	143.2

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 651百万円 (△45.6%) 26年3月期第2四半期 1,198百万円 (153.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	55.33	54.07
26年3月期第2四半期	87.60	84.77

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,545		11,117			76.0
26年3月期	16,622		11,406			68.2

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 11,055百万円 26年3月期 11,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△17.6	1,560	△39.8	1,560	△41.9	1,000	△42.7	76.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	13,416,800 株	26年3月期	13,388,500 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	799,579 株	26年3月期	390,179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	12,692,088 株	26年3月期2Q	12,747,295 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。平成26年11月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）の売上高は、医薬品事業が微増となったものの感染管理事業が減少したことから、対前年同期比591百万円減（13.9%減）の3,651百万円となりました。医薬品事業につきましては、国内向けが微減となった一方で、海外向けが香港・台湾市場を中心に堅調に推移しました。また、感染管理事業につきましては、第2四半期（7月～9月）では前年同期並みに回復したものの第1四半期における出荷減少や返品の影響から、対前年同期比で減少となりました。売上総利益は減収の影響等により、対前年同期比295百万円減（9.7%減）の2,741百万円となりました。但し、売上総利益率につきましては主に返品調整引当金の取り崩し等により対前年同期比で3.5ポイント改善しております。

当第2四半期の販売費及び一般管理費につきましては、医薬品事業における広告宣伝の強化及び感染管理事業における人員増強による研究開発費の増加等から、対前年同期比175百万円増（11.0%増）の1,772百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期の営業利益は対前年同期比470百万円減（32.7%減）の969百万円となり、経常利益は為替差益の計上等がありました。対前年同期比368百万円減（25.5%減）の1,080百万円となりました。四半期純利益は法人税等調整額の増加もあり、対前年同期比414百万円減（37.1%減）の702百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内向けの減少を海外向けの増加が上回ったことから、売上高は対前年同期比5百万円増（0.2%増）の3,047百万円となりました。

国内向けの売上高につきましては、消費税増税後の第1四半期は一時的に落ち込んだものの第2四半期（7月～9月）は回復傾向にあり、対前年同期比では、『正露丸』は微増となり、『セイロガン糖衣A』も微減までに回復しました。また、前年同期にリニューアルした『極屋奇応丸』の売上高は減少となりました。

海外向けの売上高につきましては、中国市場において第3四半期以降に出荷時期が変更になった影響により対前年同期比で減少したものの、香港・台湾市場においては引続き販売が好調に推移したことに加え円安効果もあったことから、前年同期を上回る結果となりました。

セグメント損益につきましては、海外向け売上高増加により売上総利益が増加した一方で、販売費及び一般管理費において新TVCM放映等に係る広告宣伝強化及びセグメント別の売上構成比の増加に基づく人件費配賦率の上昇等により、対前年同期比144百万円減（9.7%減）の1,342百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、売上高は対前年同期比599百万円減（50.4%減）の590百万円となりました。

一般用製品につきましては、秋口以降のインフルエンザ等感染症流行に備える小売店からの受注が増加し、『クレベリンゲル』を中心に第2四半期（7月～9月）の出荷は前年同期並みに回復したものの、前第1四半期において発生した特需及び当第1四半期において一時的に発生した返品等の影響から、売上高は対前年同期比で半減しました。業務用製品につきましては、消費者庁関連報道の影響が一般用製品よりも限定的ではあったものの回復に時間を要していることから、売上高は対前年同期比で減少となりました。

セグメント損益につきましては、売上総利益において返品に対応する返品調整引当金を取り崩された一方、減収の影響が大きかったことに加え、販売費及び一般管理費において開発部門の人員増強等により研究開発費が増加したことから、対前年同期比325百万円減（64.1%減）の181百万円となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期比2百万円増（19.1%増）の13百万円となった一方、セグメント損益は対前年同期比3百万円減の12百万円の損失（前年同期は9百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は14,545百万円（前連結会計年度末比2,077百万円減）となりました。また、負債合計は3,428百万円（同1,788百万円減）、純資産合計は11,117百万円（同289百万円減）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産3,344百万円の減少、有形固定資産の増加等による固定資産1,267百万円の増加、未払法人税等及び未払金の減少等による流動負債1,819百万円の減少、また、自己株式取得等による純資産289百万円の減少等であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から7.8ポイント上昇し76.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より3,663百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は、4,559百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は1,311百万円（前年同四半期は970百万円の獲得）となりました。主に税金等調整前四半期純利益1,080百万円の資金増加に対し、法人税等の支払額884百万円、引当金の減少456百万円、未払金の減少377百万円、売上債権の増加319百万円及びたな卸資産の増加281百万円等の資金減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1,390百万円（前年同四半期は448百万円の使用）となりました。主に有形固定資産の取得（新工場建設に係る設備投資等）による支出1,491百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は949百万円（前年同四半期は132百万円の使用）となりました。主に自己株式取得による支出641百万円及び配当金の支払額323百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,543,337	4,761,292
受取手形及び売掛金	2,177,566	2,493,793
商品及び製品	855,281	1,234,243
仕掛品	613,910	527,097
原材料及び貯蔵品	236,414	221,414
その他	492,048	336,469
貸倒引当金	△17,500	△18,000
流動資産合計	12,901,059	9,556,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	948,313	967,947
機械装置及び運搬具(純額)	318,855	282,709
土地	1,323,068	1,323,068
その他(純額)	266,671	1,549,707
有形固定資産合計	2,856,909	4,123,433
無形固定資産	34,762	28,624
投資その他の資産	829,663	836,853
固定資産合計	3,721,334	4,988,911
資産合計	16,622,393	14,545,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	496,975	493,281
未払金	1,746,066	1,249,291
未払法人税等	907,231	176,385
返品調整引当金	346,000	209,000
賞与引当金	242,567	43,973
役員賞与引当金	121,588	—
その他	286,909	155,711
流動負債合計	4,147,337	2,327,642
固定負債		
長期末払金	562,700	562,700
退職給付に係る負債	478,568	504,743
その他	27,642	33,081
固定負債合計	1,068,910	1,100,524
負債合計	5,216,248	3,428,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,717	299,366
資本剰余金	197,946	210,595
利益剰余金	11,030,219	11,407,554
自己株式	△281,714	△921,777
株主資本合計	11,233,168	10,995,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,036	37,614
為替換算調整勘定	69,750	21,728
その他の包括利益累計額合計	109,787	59,343
新株予約権	63,189	61,974
純資産合計	11,406,145	11,117,056
負債純資産合計	16,622,393	14,545,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,243,374	3,651,708
売上原価	1,129,676	1,047,170
売上総利益	3,113,697	2,604,537
返品調整引当金戻入額	267,000	346,000
返品調整引当金繰入額	344,000	209,000
差引売上総利益	3,036,697	2,741,537
販売費及び一般管理費	1,597,029	1,772,053
営業利益	1,439,668	969,483
営業外収益		
受取利息	1,843	3,120
受取配当金	1,026	1,116
為替差益	—	102,524
受取賃貸料	4,047	3,792
その他	3,781	3,575
営業外収益合計	10,699	114,129
営業外費用		
為替差損	916	—
賃貸費用	315	315
支払手数料	—	1,593
解体撤去費用	—	1,400
その他	133	239
営業外費用合計	1,366	3,548
経常利益	1,449,001	1,080,064
特別利益		
新株予約権戻入益	4,210	—
特別利益合計	4,210	—
税金等調整前四半期純利益	1,453,212	1,080,064
法人税、住民税及び事業税	325,635	170,542
法人税等調整額	10,928	207,229
法人税等合計	336,563	377,771
少数株主損益調整前四半期純利益	1,116,648	702,292
四半期純利益	1,116,648	702,292

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,116,648	702,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,513	△2,422
為替換算調整勘定	78,397	△48,021
その他の包括利益合計	81,911	△50,444
四半期包括利益	1,198,559	651,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,198,559	651,848
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,453,212	1,080,064
減価償却費	122,608	127,836
新株予約権戻入益	△4,210	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,324	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	26,175
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	77,000	△137,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△132,853	△198,594
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△94,500	△121,588
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△55	500
受取利息及び受取配当金	△2,870	△4,236
為替差損益 (△は益)	△4,503	△72,717
売上債権の増減額 (△は増加)	229,029	△319,560
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△219,160	△281,471
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,068	△1,194
未払金の増減額 (△は減少)	△319,218	△377,759
その他	△109,013	△152,656
小計	1,058,856	△432,203
利息及び配当金の受取額	2,055	5,161
法人税等の支払額	△90,446	△884,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	970,465	△1,311,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△289,930	△203,433
定期預金の払戻による収入	42,934	310,161
有形固定資産の取得による支出	△143,524	△1,491,926
差入保証金の差入による支出	△69,441	—
その他	11,063	△5,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△448,898	△1,390,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△9,336	△7,792
自己株式の取得による支出	—	△641,656
配当金の支払額	△190,335	△323,977
新株予約権の行使による株式の発行による収入	67,382	24,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,289	△949,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	45,680	△12,352
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	434,958	△3,663,270
現金及び現金同等物の期首残高	5,133,842	8,222,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,568,800	4,559,401

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が640,062千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が921,777千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,042,144	1,189,950	11,279	4,243,374	—	4,243,374
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,042,144	1,189,950	11,279	4,243,374	—	4,243,374
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,486,894	507,217	△9,099	1,985,012	△545,343	1,439,668

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,047,610	590,667	13,430	3,651,708	—	3,651,708
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,047,610	590,667	13,430	3,651,708	—	3,651,708
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,342,435	181,846	△12,144	1,512,137	△542,653	969,483

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。